



令和3年9月24日

各位

会社名 ジョルダン株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 俊和
(コード: 3710、JASDAQ)
問合せ先 執行役員経営企画室長 岩田 一輝
(TEL. 03-5369-4051)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、令和2年11月12日の令和2年9月期決算発表時に公表いたしました令和3年9月期通期(令和2年10月1日～令和3年9月30日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 修正の内容

(1) 令和3年9月期通期(令和2年10月1日～令和3年9月30日)の業績予想数値の修正

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,000	100	100	60	11.67
今回発表予想 (B)	2,900	50	110	10	1.95
増減額 (B - A)	△100	△50	10	△50	—
増減率 (%)	△3.3	△50.0	10.0	△83.3	—
(参考) 前期連結実績 (令和2年9月期)	3,474	198	223	52	10.19

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う度重なる緊急事態宣言の発出・延長等により、人々の外出・移動が減少し、乗換案内事業を中心に売上高が当初の予想をやや下回る見込となりました。その影響により、営業利益につきましても当初の予想を下回る見込となりました。経常利益につきましては、第3四半期連結累計期間に計上した営業外収益及び営業外費用から大きな変動は発生しておらず、それを踏まえて当初の予想をやや上回る見込としております。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第3四半期連結累計期間の状況とその後の税金費用の見込等を考慮した結果、当初の予想を下回る見込となりました。

現在も新型コロナウイルス感染症の影響は継続しておりますが、緊急事態宣言の解除等改善の兆しも徐々に見えつつあります。当社グループといたしましては、移動需要の回復を見据え「MaaS (Mobility as a Service)」(モビリティのサービス化)の事業展開を進めるとともに、「with コロナ社会」における人々の生活や企業の活動を支援するサービスの提供等を行い、業績の回復に努めてまいります。

(注) 業績予想につきましては、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上